

ユニバーサリズム（普遍主義）とキリスト教教会 with バリー・スタグナー牧師

アミール・ツアルファティ

- ユニバーサリズムとキリスト教教会について -

<https://youtu.be/ihbn55jrjZo>

(アミール)：ユニバーサリズム（普遍主義）に関する特別配信です。あなたはこれを「キリスト教普遍主義」と呼んでいましたが、ここでは「普遍主義」として言及します。しかし、私たちが懸念しているのは、もちろんキリスト教が、それに悩まされている点です。これらから私は、ここで悪魔の提唱者役を演じて、質問をしてみます。「キリスト教普遍主義」を教義として支持している人々が挙げる問題です。しかし、その前にバリーさん、ひとことで言うと、普遍主義とは何ですか？「ユニバース（普遍）」という言葉は分かりませんが、「普遍主義」と言うとき、それは何を意味するのでしょうか？

(バリー牧師)：普遍主義とは、すべての人、いままで生きてきた人、全人類の救いです。イエス・キリストに対する、彼らの立場や信念に関係なく。キリストが全世界の罪のために死んでくださったから、誰もが天国に行くのだ。地獄はない。地獄がある、と信じる普遍主義者の要因もありますが、しかしそれは、死後、聖徒を浄化するために罰のある場所で、その後、その人は天国に入ることができる、というものです。しかし、ほとんどの場合、普遍主義者にとって一般的な信念は、「愛の神と地獄のような場所は矛盾しており、したがって、キリストが全世界の罪のために死なれたのだから、誰もが自分の立場に関係なく、天国に入る」あなたが最初に言ったことについて、ひとこと言わせてください。私たちは、現在起こっていることに魅了されます。皆、中東で起こっていることに関するアミールさんの最新情報を高く評価していると思います。しかし、ひとつ言わせてください。聖書の預言に関するかぎり、これは大患難の時が近づいていることの指針として、イエスが言及した主要なことです。なぜなら、二組の兄弟弟子たち、漁師のペテロとアンデレ、ヤコブとヨハネが、イエスの元に来て言いました。ちょうど、イエスが言われた時です。「エルサレムの壁が崩される」「石が崩されずに、積み残されたまま残ることは決してありません」彼らは言いました。

いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。どんな前兆があるのでしょうか。（マタイ24章3節）

そして、イエスが最初に言ったのは、「偽のキリスト」です。

わたしの名を名のる者が大ぜい現れ（マタイ24章5節）

覚えていてください。「キリスト」という言葉は、「油を注がれた」または、「油をそそぐ」という意味です。つまりイエスが、まず第一に注意するように言われたのは、「自分こそが油を注がれた者であると主張し、わたしの名によって、偽のメッセージを伝える人々」です。これは確かに、偽のメッセージです。

(アミール)：それは偽のメッセージです。ですから、基本的にこれを「預言アップデート」と呼びたいければ、呼んで構いません。私たちは、間違いなくしるしの話をしていますから。終わりの時の預言的なしるし。実際、これは主の来られるのが非常に近いことを理解するために、イエスが弟子たちに与えられたリストの一番トップです。では、私は、今から悪魔の提唱者を演じます。そして、言います。「ほら、申し訳ありませんが、バリー牧師、私はローマ書で読みましたよ？ローマ書は私たちの信仰の大憲章で、私たちの信仰の本質（本質）のすべてが、そこにあります。ローマ書5章12節以降は、次のように告げています。

そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして死が全人類に広がったのと同様に、一一それというのも全人類が罪を犯したからです。というのは、律法が与えられるまでの時期にも罪は世にあったからです。しかし罪は、何かの律法がなければ、認められないものです。ところが死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々をさえ支配

しました。アダムはきたるべき方のひな型です。ただし、恵みには違反の場合とは違う点があります。もしひとりの違反によって多くの人が死んだとすれば、それにもまして、神の恵みとひとりの人イエス・キリストの恵みによる賜物とは、多くの人々に満ちあふれるのです。また、賜物には、罪を犯したひとりによる場合と違った点があります。さばきの場合は、ひとつの違反のために罪に定められたのですが、恵みの場合は、多くの違反が義と認められるからです。もし…」

ここから、彼らが使う部分です。

もしひとりの人の違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりの人イエス・キリストにより、いのちにあって支配するのです。こういうわけで、ちょうど一つの違反によって、すべての人が罪に定められたのと同様に、一つの義の行為によって、すべての人が義と認められて、いのちを与えられるのです。すなわち、ちょうどひとりの人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、ひとりの従順によって多くの人が義人とされるのです。律法が入って来たのは、違反が増し加わるためです。しかし、罪の増し加わるころには、恵みも満ちあふれました。それは、罪が死によって支配したように、恵みが、私たちの主イエス・キリストにより、義の賜物によって支配し、永遠のいのちを得させるためなのです。（ローマ5章12節から21節）

基本的に彼らが言うのは、「ほら、アダムが罪を犯して、罪が広がった。そして、ダビデは正しかった。“母は私を罪ある者としてみごもった。”しかし、それからイエスが来られ、イエスとともに赦し、恵み、そしてすべての罪からのきよめが来たのです」彼らは言っているのです。「ほら見て。聖書に書いてある。ちょうどひとりの人によって罪が世界に入り…。もう一人を通して、無償の賜物が与えられ、すべての人が義とみなされるのだ」これについて、どう答えますか？

(バリー牧師)：まず、聖書を解釈する時の最初のルールは、不明瞭な部分は、明確なものによって解釈することです。しかし、これを利用して、本来意味するものとは異なる方向に持っていく人がいます。ですから私たちは、目の前にあるものを解釈するために、神のご計画全体に目を向ける必要があるのです。ここでは“多く”という言葉が使用されていて、明らかにそれは“多数”を意味します。そして、これは「すべて」という言葉に置き換えられる、と言う人もいます。したがって、アダムによって、「すべて」が罪人になったのなら、「すべて」が、キリストによって救われる、と。しかし繰り返しますが、私たちは、誤解され、悪用されている箇所を、聖書の明確な記述によって解釈しなければなりません。しかし、私たちが認識すべき、もうひとつのことは、これは位置的真理の描写である、という事だと思います。これは教義の確立ではありません。教義は、すでに使徒によって確立されていますから。それが私たちに告げているのは、一人の人間の一つの行為が世界全体に影響を与え、対照的に…聖書は、しばしばポイントを主張、または強調するために対比を用います。アダム一人の行為とは対照的に、イエスおひとりの行為も、十字架上の彼の死によって、全世界の魂を救う力があります。次に、私たちは継続して、その意味することを、聖書によって解釈してゆきます。ヨハネ1章12節によると、

その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。（ヨハネ1章12節）

ですから、聖書が告げている通り、この場合は、位置的真理が確立されていることを認識しなければなりません。私たちがよく言う第2コリント5章17節は、

だれでも（ここに範囲があり）キリストのうちにあるなら、（ここに位置があります）その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。（第2コリント5章17節）

だからパウロが言っているのは、あなたがアダムの位置で死ねば、あなたは永遠に滅びる。しかし、その永遠の滅びからの救済策があり、それはキリストの中にある。彼には、その力があるのです。私は、愛する兄弟姉妹と意見が合わない領域には行きたくはありませんが、しかし、イエス・キリストの血潮の贖いのパワー

を制限することはできないと思います。聖書が「彼は全世界の罪のために死んだ」と言うなら、それはまさに彼がしたこと、ですから、彼の血には誰でも、どんな人でも救う能力があります。しかし、それは人間の責任の役割を排除するものではありません。

(アミール)：では、質問です。明らかに、あなたは、主キリストにある人だけ、主を受け入れた人だけ、主を信じるものだけ、彼らにだけ、主は永遠のいのちを与えられたのだと主張しています。では、お聞きしますが、普遍主義者はすべての人が救われると言います。それは、つまり、キリストを知っているであろう人は、自分たちが救われていることを知っている。そして、キリストを知らない人は、彼らは、自分たちが救われていることを知らないが、しかし、彼らは救われている。基本的に、彼らはそう言っています。彼らが言うには、街中にいる誰もが…、つまり、私が会った普遍主義者は、私に言ったのです。

「アミールさん、ISISでさえ、最も恐ろしいテロリスト、何百人、何千人もの人々を殺した者たち、彼らもすべて救われていて、彼らはすべて天国に行くのだよ」

実際、彼らは私に「地獄はない」と言いました。天国しかなく、彼らはすべて救われている、と。そこで、私の質問は、自分が救われていることを知らずに、救われることはできますか？

(バリー牧師)：いいえ、できません。ひとつに、私たちには将来の相続の保証があります。エペソ1章13節が、私たちに告げています。

約束の聖霊をもって証印を押されました。(エペソ1章13節)

イエスがヨハネ14章26節で言われました。

聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、(ヨハネ14章26節)

ですから、確実に分かるでしょう。自分の罪から悔い改める必要があること、そして、主に従う必要があり、主の御言葉に従って生きなければなりません。もし、あなたに聖霊が内住しているなら。ところで、聖霊は聖書全体の作者です。1500年以上に渡り、約40人の異なる著者によって人間が書いたにも関わらず、すべてのページに書かれた、すべての単語にインスピレーションを与えたのは御霊でした。ですから、救いに気づかないことは不可能です。救われるためには、救い主を認識しなければなりませんから。だから、繰り返しますが、この議論は、非常に多くの、ほかの聖句を無視しています。私たちが少し前に言った、「この方を受け入れた人々」や、使徒4章12節の、「この方以外には、誰によっても救いはありません」。このように識別するポイントは、その御名とは救う力があるその性質を現していますから。

(アミール)：全クリスチャンの、イエスに関する重要な聖句を見てみましょう。それはヨハネ3章16節です。それを見てみましょう。「神は、…世を愛された。」

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。(ヨハネ3章16節)

(バリー牧師)：ここに範囲があります。

(アミール)：はい。「神は、実に、そのひとり子をお与えになった…」

(バリー牧師)：行為があります。

(アミール)：しかし、ここで彼は言います。「それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」(ヨハネ3章16節)

(バリー牧師)：はい、位置的な真実があります。あなたがキリストを信じると、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って…。(第2コリント5章17節)

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。（第2コリント5章17節）

つまり、ローマ書1章の余談を見れば、- それを調べると、本当に興味をそそられます - そこで起こることを見てみると、それは創造主としての神を否定するところから始まります。そして、神が創造した被造物を、礼拝する。

それゆえ、神は、彼らとその心の欲望のままに汚れに引き渡され、そのために彼らは、互いにそのからだをはずかしめるようになりました。（ローマ1章24節）

そして、さらに踏み込んで、ローマ1章は言います。

それゆえ、彼らは神を知っていながら、その神を神とてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなりました。（ローマ1章21節）

だから、そこには神の主権と人間の責任の組み合わせがあるのです。彼らは、神の存在を認識しています。

大空は御手のわざを告げ知らせる。（詩篇9編1節）

神は、すべての存在に語る力があることは、被造物を見れば明らかです。彼らはそれをすべて、完全に認識しています。しかし、彼らは神を知っていたにもかかわらず、神を神として神をあがめず、むしろ、創造主ではなく、被造物を拝むのです。ですから、くりかえしますが、ローマ書1章32節に、彼らの最終的な状態が示されています。

こういうわけで、神は彼らを恥ずべき情欲に引き渡されました。（ローマ1章26節）

(アミール)：それから、第2テサロニケ2章でも、それを読むことができます。

なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。（第2テサロニケ2章10節）

さて、残念ながら、私の大切な友人のひとりが、この普遍主義の影響を受けて、あるオンライン・ミニストリーの教師に従い始めました。その人のミニストリーの教えは、「finished work（完成した御業）終末論」と彼らが呼ぶもので、その主要なものは、基本的に西暦70年に、預言的にすべてが成就されたというものです。したがって、黙示録は、もはや未来のものではなく、実際には過去のものである、と。私たちは、もはや何も待っていない。すべてが完了し、すべてが成就されている。すべてが終了し、すべてが達成されていて、したがって、すべての人々が今は救われている。その事実について、何か言いたいことはありますか？そして、彼らは、言います。

「ほら、たとえばヨハネの福音書は、ほかの福音書とは異なって、彼は西暦70年の出来事の後に、それを書きました。だからこそ、彼はほかの福音書のように、未来的な出来事について言及していないのです」そして、彼らは基本的に、こうほめかします。「すべての人の救いに影響を与える出来事、信者が待つべき将来的な出来事は、もうない」さて、それについてはいかがですか？

(バリー牧師)：デタラメ。もっといりますか？

(アミール)：はい、マヨネーズとマスタードを。では、追加してみましょう。この種の議論に、どのように答えますか？

(バリー牧師)：ひとつに、その議論には、すぐに問題が生じます。4つの福音書は、すべて異なりますから。私たちが、イエスの地上でのミニストリーの全体像を見ることができるよう、それぞれ視点や取り組み方が異なります。そして、ヨハネは基本的にイエスのミニストリーの最後の6ヶ月に言及しており、マルコの

福音書は…、私はこれを「イエスのミニストリーへ、たぐり寄せるハイライト」と呼ぶのが好きです。マルコの福音書は、山上の垂訓すら記録しておらず、オリーブ山の垂訓も記録していません。彼は、イエスが行ったことに焦点を当てていて、対して、マタイとルカはイエスの主要な教え、基本的な真理を記録しています。ですから、4人は、イエスの地上での生活とミニストリーに対して、異なる取り組みをしているのです。ですから、それだけで「ヨハネの福音書は異なる」というその議論を、すべて無効にします。ヨハネの記述を見る時に私が考慮したいことの一つは、ヨハネがイエスの証のために、パトモス島に追放されたことが分かっています。そして彼は終わりの日の様子について、神から啓示を受けました。そして、ヨハネの記述の時系列を見れば、彼が最初に福音書を書いたことが分かります。次に黙示録を書き、それから第1ヨハネ、第2ヨハネ、そして第3ヨハネを書いたのです。なぜなら、特に第1ヨハネの口調を見ると、それは、すべてのものの終わりを見た人の口調です。それは目撃した人、天国に行き、地獄に行った人、言葉を慎重に選ぶ人の口調です。第1ヨハネで彼は罪について、そして私たちにはその代弁者がいること、その他、すべての事柄について話しています。それは本当に深く、完全な理解をした人物の情熱が現れている書です。

(アミール)：つまり、福音書だけを取り、黙示録と第1、第2、第3ヨハネの両方を考慮せずに、ヨハネの福音書に関する、終末論全体を確立するのは大きな間違いです。

(バリー牧師)：間違いです。ヨハネの福音書は、マタイとルカで見られるオリーブ山の垂訓と違って、終末論を伝える福音書ではありませんから。

(アミール)：私はまた個人的に思うのは、その問題の本体、黙示録は、地球の歴史上、一度も起こったことがない出来事について話しています。そこに記録されている、すべての壊滅的な出来事は、一度も起こっていません。火の海が、どこにありますか？死が、もはやなくなったのを、どこで見ますか？人は、まだ死にます。新しいエルサレムが、どこに見えますか？反キリストのあらゆる側面を、どこで見ますか？獣の知るし？大患難、大患難の聖徒、二人の証人？144,000人の証人？つまり、黙示録が語っている、これらすべてのことは、明らかに、一度も起こったことはありません。しかし彼らは、それが西暦70年に起こったと主張しています。それでは彼らがそれを確立するために頼れる出来事がひとつでもあると思いますか？

(バリー牧師)：いいえ。

(アミール)：ほかに…、彼らはネロや、その他のことについて話していたと思います。だから、握りしめられるものは、ほとんどありません。

(バリー牧師)：ええ、ありません。そして、あなたが言ったように私たちは、特にオリーブ山の垂訓の冒頭で、イエスが言われた言葉と合わせてみても、その中で彼は、その時に起こる一連の出来事について言及され、そして言われました。私はいつも面白いと思うのですが、「石がくずされずに、積み残されたまま残ることは決してない」と彼（イエス）が言った時に、彼らはそれについて尋ねます。彼らはそれについて尋ねましたが、彼は決してそれに答えず、来る兆候について、厳密に答えられました。それは、私たちが読み、理解することが実に重要だったからです。そして、あなたが指摘したように、起こっているこれらすべてのことを見れば、戦争や戦争のうわさ、民族間の緊張、国家紛争、地震は産みの苦しみのように強度を増し、疫病も同様に増加しています。西暦70年に、これらすべてが起こるのを見つけることはできません。だから、黙示録の外でさえ…。聖書には、たとえ話と描写があります。それについては、何の疑問もありません。しかし文字通りのことを、たとえ話とすることはできません。ほかの物を見れば、黙示録の第四の馬を見ても、地球の人口の4分の1が、いつ死にましたか？

(アミール)：まさに。

(バリー牧師)：西暦70年には起こっていません。パンの4分の1や、パン1斤に、1日分の給料を支払ったのは、いつですか？

(アミール)：はい。

(バリー牧師)：いつ、それが起こったのか？地球の獣が、いつ人間を殺して食べましたか？第四の馬に書かれているように…。(第四の封印が解かれた時のこと)

私は見た。見よ。青ざめた馬であった。これに乗っている者の名は死といい、その後にはハデスがつき従った。彼らに地上の四分の一を剣とききんと死病と地上の獣によって殺す権威が与えられた。（黙示録6章8節）

(アミール)：それに、致命的な傷やその他。

(バリー牧師)：はい。それはいつ起こりましたか？それに、黙示録16章が告げている人類史上最大の地震は？それを、どのようにたとえるのですか？または、太陽が熱くなり体を焦がすとか？大地から2億の悪魔のような生き物が出て来て、地球に侵入したのは、いつですか？

(アミール)：同意します。

(バリー牧師)：それは、うまくいきません。

(アミール)：完全に同意します。もうひとつの質問です。あなたの日曜日のメッセージのタイトルは、「キリスト教普遍主義。良いニュース？それとも悪い教義？」ええ、それは良いニュースのように聞こえるので。「すべての人が救われるんだよ」

(バリー牧師)：「だれもが天国に行く」

(アミール)：では、あなたがあのメッセージで取り組んだ、聖書とその教義を区別するポイントを教えてください。できる限り簡潔に、できる限り要約された形でお願いします。

(バリー牧師)：さて、私たちは日曜日、まず、普遍主義者が信じていることを確立したいと思います。それは、すべての人の普遍的な救いです。そして、私は彼らが使用する信条をいくつか引用しました。基本的な6つ。第一に、神は、すべての人々にとって愛に満ちた親である。それは今日、最も人気のある声明の一つで、しばしばハリウッドから聞こえてきます。または、性的不道徳を明言する人も使います。「そうだ！私たちは、みんな神の子どもだ！」聖書は、それを全く教えていません。それから、私たちは要点に言及しました。私たちは、アダムとエバのために創られた最初の創造過程の副産物であるにもかかわらず、神が最初に創造したもつから逸脱してしまったことも、私たちは認識しています。エバがだまされ、アダムと一緒に従うことに決めた時…、意識的に罪を犯しました。

(アミール)：私たちは、すべてが神の子どもではないということですね？

(バリー牧師)：私たちは、すべてが神の子どもではありません。なぜなら、セツが生まれた時に言われています。彼は墮落したアダムとエバの似姿で生まれた、と。（創世記5章3節）

アダムは、百三十年生きて、彼に似た、彼のかたちどおりの子を生んだ。彼はその子をセツと名づけた。

(創世記5章3節)

(アミール)：神の似姿ではありません。

(バリー牧師)：神の似姿ではない。

(アミール)：アダムは神の似姿でした。

(バリー牧師)：アダムは神の似姿だった。

(アミール)：しかし、彼は墮落しました。

(バリー牧師)：彼は、神との継続的な交わりよりも罪を選んだので、その素晴らしい栄光の始まりを放棄したのです。そして、その時以来、セツの誕生から、人間はセツと同じ状態で生まれることが分かります。

(アミール)：創世記6章まで…

(バリー牧師)：救い主を必要とする墮落した罪人。それが、キリスト教普遍主義の最初の議論です。

(アミール)：「私たちは、神の似姿に創られた」アダムはそうでしたが。

(バリー牧師)：神は全人類にとって愛なる親である、それが、彼らが信じていることです。それに対する最も強い議論のひとつは、ではなぜ、聖書は養子縁組の原則を教えるのか？

(アミール)：あなたが何らかのかたちで神の子であるなら、なぜ、あなたは養子縁組する必要があるのか？

(バリー牧師)：ええ、なぜ養子縁組される必要があるのか？

(アミール)：養子縁組を書いた聖書はなんでしたか？教えてくださいませんか？これは、とても重要だと思います。

(バリー牧師)：ええ、私たちは否定的な観点から話しましたが、まず第1に、イエスは言います。「『主よ、主よ。』と言う者が、みな、天の御国にはいるのではない」

(アミール)：彼は言います。「わたしはあなたがたを全然知らない」

(バリー牧師)：その通り。ヨハネ1章12節は告げています。

その名を（神の子であることを）信じた人には一人のこらず、神の子となる資格をお授けになった。

(ヨハネ1章12節)

この「なる」は、立場の変化を示します。

(アミール)：まさに。

(バリー牧師)：もはやアダムにはありません。あなたは今、キリストの中にいます。

(アミール)：私はいつも言いますが、「新生した者」として生まれることはできません。

(バリー牧師)：その通り。

(アミール)：神の子として生まれることはできません。

(バリー牧師)：だれも、最初の誕生では救われません。

(アミール)：まさに。「新生」して生まれたなら、なぜ、「新たに生まれる」必要があるのですか？ただ、問題は、バリー牧師、簡単に言えば、肉として生まれて、すでに、自動的に神の子として生まれることはできません。

(バリー牧師)：血肉は、永遠のいのちを受け継ぐことができません。

(アミール)：血肉は永遠のいのちを受け継ぐことはできない。ですから、自動的に神の子として、神の似姿に生まれた人は、だれもいません。残念ながら、エデンの園で物事が間違った方向に行きました。そのため神の子と呼ばれ、神の似姿に創造される権利が、私たちから奪われたのです。そして、私たちはある意味、両親の似姿になりました。それでは続けましょう。それが最初の議論です。彼らは「すべての人が神の似姿に創られたため、すべての人が救われる」と言います。「私たちはみな神の子どもであり、神は愛なる親である」とかなんとか。さて、私たちは「この方を受け入れた人々に、永遠のいのちという賜物をお与えになった」ことを理解しています。そして、もちろん養子縁組が重要です。なぜなら、あなたがすでに…。

(バリー牧師)：あなたがすでに子どもなら、養子縁組されません。

(アミール)：その通り。

(バリー牧師)：日曜日に述べたように、それが放蕩息子に関して見落とされている美しいことのひとつだと思います。息子が家に帰ってきた時に何があったのかというと、父親は、彼に上着を着せ、彼に指輪を付けて、肥えた子牛を屠りました。それは、ローマの養子縁組の儀式でした。そして、彼は「死んでいた私の息子が今は生きています」と言っています。そして、それは、まさに私たちが救われた時に、私たちに起こったことです。私たちは世に出ていました。私たちは罪の中で死んでいて、そして家に帰りました。すると、主は私たちに新しい上着、義の衣を着せ、家族のしるしである指輪を、私たちに着けてくださいました。そして、天のすべての御使いが喜んだ。これは世に失われ、そこから救い出された美しい救いの絵です。そして、キリスト教普遍主義の第二信条は、イエスは神のご性質と性格を明らかにする。それは、全く真実です。そして、その後半は全く真実ではなく、彼は、すべての人類の霊的指導者である、と言います。さて、私は、最も簡単な答えが、多くの場合、最良の答えだと思います。イエスが、最初の12人を召された方法を見れば、1人は悪魔であったことを彼は最初からご存じでしたが、彼は、彼らに「Follow me (わたしについて来なさい)」という、たった2語の命令を与えました。さて、彼が「わたしについて来なさい」と言われたということは、彼らがそうではなかったことを意味します。それは方向転換です。わたしについて来なさい、わたしと一緒に来なさい。それは、彼が今日の人々に、まだ言っていることです。わたしについて来なさい。わたしの信者になりなさい。

(アミール)：彼に従うなら、彼は、あなたの指導者になります。

(バリー牧師)：まさに。

(アミール)：ですから、人間だから自動的に従う、というわけではありません。イエスを自分の指導者として従い、認めないかぎり、自動的にイエスが自分の指導者にはなりません。彼らはずっと、こんなふうに言います。「ほら、イエスが指導者だ」あなたが神を信じようと、信じまいと、「主が指導者だ」そして、彼らは、あなたがイエスを低く見ているように言おうとします。どうして、彼は全人類の指導者ではない、などと言うのか？彼はすべての人類のところに来ましたが、彼に従い、彼を信じる人だけに、主が指導者となり、そして主は、永遠のいのちをお与えになります。そして、彼は救いを与え、彼らは養子縁組されるのです。あなたが話した、もうひとつのこと。

(バリー牧師)：はい、4番目の信条に飛びますが、彼らは言います。「罪は、罪人に否定的な結果をもたらす。この世でも死後でも、罪に対する神の罰は、すべて強制と改善である」つまり、「死後も救いの機会がある」という意味です。

(アミール)：「浄罪界^{じょうざいかい}」です。

(バリー牧師)：浄罪界。ご存じのように、多くの普遍主義者は、いわゆる「下位集団」があると信じています。仮に、あなたがキリストを拒絶した場合、仮に、あなたが主に立ち返らなかった場合、あなたが犯した罪の程度に従って罰を受ける場所があり、あなたが「地獄」として知られている場所での経験を通して浄化された時に、あなたはそこを出ます。

(アミール)：彼らは、聖書の“第二オピニオン”に基づいていますね？

(バリー牧師)：「第二オピニオン」とか「肉口ニアン」とか、そういったものです。しかし興味深いことに、聖書は永遠性を運命と結びつけています。そして、それは私たちの状態が、恒久的な条件になることを、何度も何度も示しています。だから、黙示録21章が告げているのです。

不正を行う者はますます不正を行い、汚れた者はますます汚れを行いなさい。

正しい者はいよいよ正しいことを行い、聖徒はいよいよ聖なるものとされなさい。

(黙示録22章11節)

そして、それは永久的な状態を意味します。ですから聖書は、死後の浄化については何も教えていないのです。そして、その主な危険は、十字架上でキリストが完成された御業^{みわざ}を減少させることだと思います。

(アミール)：つまり、「完成した御業」の名のもとに、彼らは実際、完成された御業を小さくしている。

(バリー牧師)：はい。

(アミール)：「ほら、“完成された御業”終末論という名のもと、すべての人が救われているんだ」彼らは実際、それを小さくしています。明らかに、それは正反対ですから。

さて、質問です。私たちは今、彼らが聖句を使って言っていることの多くが、実際には反対であるということについて話しています。しかし、あなたに質問があります。「普遍主義」は、聖書のどこにありますか？言い換えれば、新約聖書、または旧約聖書のどこかに普遍主義のような教えを、イエスであれ、使徒のひとりであれ、だれかが教えている箇所はありますか？

(バリー牧師)：ああ、それは簡単です。だれもが、それを知っています。

(アミール)：わかりました。

(バリー牧師)：最初の単語は「NO」2番目の単語は「WHERE」。聖書の“NO-WHERE”（どこにも）そのような教えはありません。

(アミール)：つまり、それを支持する教えは、どこにも見つからない？

(バリー牧師)：「すべての人の普遍的な救い」私たちが認識する必要があると思うことのひとつは、あなたもこの冒頭で言及していますが、終わりの時に起こるエキサイティングな出来事について、これもまた、パウロが第2テモテ4章で話したものです。

人々が健全な教えに耳を貸そうとせず、自分につごうの良いことを言ってもらうために、気ままな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め…（第2テモテ4章3節）

「天国があり、地獄があって、そしてキリストは、あなたがひとつの永遠の運命からほかの運命に渡ることを可能にする唯一の橋である」とは、彼らは聞きたくありませんから。彼らは、それを聞きたくなくて、それについて議論をします。

(アミール)：御子を信じる者はさばかれぬ。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったので、すでにさばかれています。（ヨハネ3章18節）

(バリー牧師)：その通りです。次に進む前に、簡単に追加させてください。私たちは、文脈の中で聖書を引用しなければなりません。アミールさんが先ほど見事に読んでくれたように、議論全体が確立され、全体を読めばローマ書5章が告げている通り、位置的な意味があることが分かります。しかし、もし12節の1節を取って、それを隔離し、そこからのみ教義を構築すれば、基本的に神のご計画全体を用いて教義を確立することを放棄しています。しかし、私たちがこれらのことを見て、これらのことを調べ、そして、終わりの時に、欺瞞的きまんてきな要素があることを理解すれば、文脈の中で聖書を見るのは、私たちの責任です。何かを理解するためには、必ず前の節と後の節を読むべきです。

(アミール)：ええ。同意します。聖書は…救いと永遠について、そしてもちろん、私たちの永遠の目的地、新しいエルサレムについて言えば、聖書は、だれもが新しいエルサレムはいに入れる、と言っていますか？

(バリー牧師)：いいえ。

(アミール)：聖書は何と言っていますか？だれが外に残されますか？残される人はいますか？

(バリー牧師)：非常に記述的な用語があります。犬、性的不品行を行う者、すべての嘘つき、

(アミール)：魔術を行う者。

(バリー牧師)：はい、黙示録21章8節は言います。私は、これが終わりの時のシナリオの最も魅力的な要素のひとつであり、その永遠の側面だと思えます。新しいエルサレムに入ることを許されないと一番に挙げられているのは、おくびょう者です。

(アミール)：おくびょう者

(バリー牧師)：「おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行う者、偶像を拝む者」それから、「すべて偽りを言う者ども」です。

しかし、おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。

(黙示録21章8節)

また、第1コリント6章に戻って、私たちが救われる前は、全員これらに属していた事を認識する必要があると思います。だからパウロは言ったのです。

あなたがたの中のある人たちは、以前はそのような者でした。（第1コリント6章11節）

ですから、黙示録21章8節は、悔い改めない状態を意味しているのです。しかし、ダニエルはまた、12章2節から3節で告げています。

地のちりの中に眠っている者のうち、多くの者が目をさます。（ダニエル12章2節）

そして、彼は区別しています。

ある者は永遠のいのちに、ある者はそしりと…

彼は同じ言葉を使用しています。「永遠の^い忌みに。」神からの完全な分離です。そして、彼はまた、永遠のいのちにある人々について、続けます。

**思慮深い人々は大空の輝きのように輝き、多くの者を義とした者は、世々限りなく、星のようになる。
(ダニエル12章3節)**

(アミール)：ところで、私たちは黙示録22章14節に言及しました。

自分の着物を洗って、いのちの木の実を食べる権利を与えられ、門を通過して都に入れるようになる者は、幸いである。犬ども、魔術を行う者、不品行の者、人殺し、偶像を拝む者、好んで偽りを行う者はみな、外に出される。(黙示録22章14節から15節)

ですから、間違いなく新しいエルサレムに入れない人がいます。したがって、すべての人が救われるという概念は、すでに間違っています。

(バリー牧師)：ええ。大いなる白い御座の審判の目的は何ですか？

(アミール)：まさに。皆さんが理解されることを願っています。この30分間、私たちは、あらゆる疑いの影を超えて、普遍主義の教義を確立しました。「すべての人が救われる」「私たちはみな神の子である」「イエスはすべての人類の指導者である」これは聖書的ではありません。ところで、聞こえは素晴らしいですよ？認めざるを得ません。聞こえは素晴らしい。良い知らせですよ。「すべての人は救われ、あなたはみな、神の子どもです」「私たちはみな、神の似姿に創造され、彼は私たちの指導者です」これは聖書的ではありません。私たちは、まさに3つのことを確立しました。A)イエスが言われました。

わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者が、みな天の御国に入るのではなく…。(マタイ7章21節)

彼は基本的に、こう言います。

『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』(マタイ7章23節)

そしてイエスが言い、福音が告げ、後に使徒たちが書いています。

**この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。
(ヨハネ1章12節)**

それ以上に、神はアダムを、神の似姿に創造されたことが分かっています。しかし、セツはすでに神の似姿ではなく、アダムの似姿でした。だから、私たちはすでに墮落した人の似姿であり、私たちは全員、神の似姿ではありません。また、私たち全員が知っているのは、「神の子」という言葉は、養子になった人々のものです。かつては死んでいて、そして今は、よみがえった者たち、イエスに従うことを選んだ人々です。あなたがイエスに従うことを選んだ場合にのみ、主は、あなたの指導者になります。主が弟子たちにそう言われたのです。「わたしについて来なさい。」ということで、それらすべてを確立しました。

皆さん、バリー牧師のYouTubeチャンネルをフォローしてください。「The Truth About God」これは、YouTubeチャンネルです。また、BarryStagner.com、それからインスタグラムとフェイスブックは、Barry Stagner 神についての真理に関する、素晴らしい教えです。皆さん、私たちが話したほとんどすべてが、聖書預言の領域です。聖書は、最後の最後に、この種のトンデモナイ教義が起こる事を予測していますから。そして、私たちは最初に言及しましたが、これは、その兆候として一番最初に挙げられました。

(バリー牧師)：それに注意せよ、と。

(アミール)：はい、私たちは気をつけなければなりません。もちろんイランとイスラエル、ロシア、シリア、トルコ、これらはすべて素晴らしいです。しかし第一位は、こういった偽りの教義、偽の救世主、偽りの教えです。そして、私はそれを明るみに出すことができ、とても興奮しています。どうか、知っているかぎり多くの人々と、この種の教えを共有してください。言っておきますが、多くの人が、自分は天国に行くこと確信しています。しかし、神ご自身が求めておられる、救われるために必要な特定の規定があることを、彼らは知りません。神の息子、または神の娘と呼ばれ、最終的に新しいエルサレムに入るための規定です。

(バリー牧師)：そして、アミールさん、エゼキエル38, 39章の“諸国”に関する解釈については、だれも罪に問われることはありません。

(アミール)：まさに。

(バリー牧師)：さまざまな意見がありますが、それらは救いに関わる問題ではありません。でも、これは救いに関わる問題です。

(アミール)：まさに。

(バリー牧師)：「十字架のことは、滅びに至る人々には愚か」です。(第1コリント1章18節) 十字架を取って、それを別の宗教と同一視したり、またはキリストを別の信念と等しくしたり、または、救いを得るための死後の苦しみと、キリストとを等しくすれば、その後、栄光ある、素晴らしい、排他的なものを取って、キリストの血を、他のものと同様に一般的なものにしてしまいます。それは健康的なことではありません。

(アミール)：私は、この教えが多くの人と共有され、多くの人が見ることを祈り、願います。そして、多くの人が救いについて考えますように。キリストを唯一の道、真理、そしていのちとして受け入れることを、真剣に考えますように。自分は罪人であり、救いが必要であるという立場を理解するように。そして、もちろん主にしたがって、「彼は私の指導者です」と言えるように。そしてもちろん、いったん、あなたが養子となれば、今、あなたは神を「アバ、父よ」と呼ぶことができ、今、あなたは神の息子、娘です。今、あなたは王である祭司です。そして、もちろん、その時、あなたは最終的に新しいエルサレムに入ることが許されます。そこが、私たちの目的地です。

(バリー牧師)：ひとつ、画面に出たことに対して、あなたがよければ答えたいのですが。

(アミール)：お願いします。もちろん。

(バリー牧師)：だれかが尋ねていたのは、「罪のない完全な者になるには、どうすればよいのでしょうか？」
「罪のない完全な者とは何ですか？」私たちは“完全な者になる”という教義は教えていません。聖書はそれを教えていません。私たちは、神の時に完成されるのです。ピリピ人への手紙1章6節。

あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださる。(ピリピ1章6節)

そして、私たちがそれを受け取るのは、ピリピ人への手紙3章20節から21節によると、“私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださる”時です。

けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。(ピリピ3章20節から21節)

そして、パウロが第1コリント15章で言っている、朽ちない体です。その後、我々はまた、朽ちない体を受け取るのです。私たちは、いわば永遠に生きることができる、朽ちない体に変えられます。

兄弟たちよ。私はこのことを言っておきます。血肉のからだは神の国を相続できません。朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならないからです。

（第1コリント15章50節から53節）

ですから私たちは、罪のない完璧な人生を生きなければならない、とは教えていません。それは不可能ですから。

(アミール)：私たちがこれらの体にいる限り。

(バリー牧師)：これらの体で。しかし、私たちが栄光の体になった時…、最も素晴らしい聖句のひとつが、

キリストが現れたなら、私たちはキリストに似た者となる。（第1ヨハネ3章2節）

しかしそれは、この時点で私たちが教えているのとは、全く違います。私たちは、「この人生で罪を犯してはならない」と言っているではありません。罪を減らすべきですが、罪のない者ではありません。

(アミール)：さて、ご視聴いただき、ありがとうございます。繰り返しますが、お願いします。この教えを共有してください。そして、多くの方が、これを通して救われ、キリストの真理を知るように、一緒に祈りましょう。私たちが望むのは、それがすべてです。正直なところ、人々の人生が変わり、たましいが救われ、改善するのを見る以上に私たちが望むものは、何もありません。そしてもちろん、私たち全員が天国で互いに会い、永遠を一緒に過ごすこと。

ですから、お父様、御言葉と約束、福音の明確さ、私たちの目の前にある教義の明確さに感謝します。

お父様、私たちはあなたの御言葉に、何も一切追加しないようにと警告を受けていることを感謝します。取り除いたり、つけ加える者は呪われます。そして父よ。私たちは間違いなく、終わりの時に、人々が異なる教義をもたらすのを見ています。彼らは物事を追加し、物事を取り除き、物事を変え、彼らは間違いなく、人々が聞きたいことに話を合わせ、唯一の真の神の御言葉を、聖霊が明確に伝えることのできる器にはなりません。唯一、御言葉だけが、救い、変え、改善することが可能です。お父様。私たちは、あなたの御言葉を持っていることを感謝します。あなたは、御言葉をあなたの御名よりも高く上げられました。そして、私たちは、これが最も重要であることを知っています。ですから、お父様。どうか、今朝のマニラからのこの教えを、あなたが用いて、私たちが今日持っている、このすばらしい技術を通して、世界の四隅の、できるだけ多くの人々に広げてください。人々がイエスに従い、イエスを信じることの必要性を理解しますように。そして、「すべての人が救われている」「私たちには、やるべき事は何も残っていない」という、とんでもない教義に陥らないように。パウロ自身が言いました。「私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。」（第2テモテ4章7節）これは我々が戦うべき戦いであり、これは我々が走るべき競争であり、そして、我々が守るべき信仰があります。父よ。私たち全員が、これらの言葉を言えるようにしてください。パウロが天に召される直前に、テモテに書きました。

お父様。あなたに感謝し、あなたを祝福します。私たちは、この配信をあなたの御手にゆだねます。

他にはないイエスの御名によって祈ります。

アーメン。

ありがとうございます。God bless you !

このメッセージを、どんどん共有してください。

God bless you !



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>